

製品を作るだけでは終わらない。
天竜の製材業を、さらに林業をも
元気にしていきたい。



鹿島木材株式会社
高林秀行 代表取締役社長

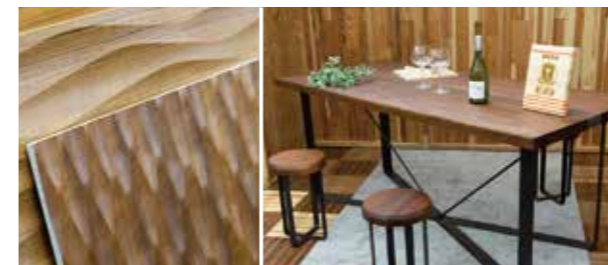


ものづくりの技術と、ものを売る営業力 自社の強みを生かす製品を

製材で培ってきた加工技術、製材で出来た材を有効利用し、集成材を作る接着技術、原料を仕入れ販売する営業力。その全てを備えていることが弊社の強みです。それを生かし、この浜松で事業を拡大していきたいと思っています。KOMOREBIは完全オーダーメイドですので、お客様のご希望に応じ多種多様な加工ができます。他社ではなかなかできない製品です。

他にも浮づくりという木目を浮き上がらせる加工で、木の風合いと温かな触り心地を楽しめる床材やウッドパネルなども製作しています。これも高い加工技術を生かした製品です。

私はもっぱら売の方が担当ですが、工場で働く社員たちは若い世代や女性も多く、様々なアイデアを出してくれます。また展示会で出会う方など、色々な分野の意見も取り入れさせてもらっています。その甲斐もあって、天竜材を用いた建築物や木製品で機能性・デザイン性に優れたものを表彰する「浜松ウッドコレクション2018」にて、「KOMOREBI ダイニングテーブルセット」が家具部門最高賞を獲得することができました。



製材から卸売、集成材の製造へ 事業転換が生き残りの鍵

弊社は私で3代目になります。現在では地元の工務店・ビルダーへの小売や首都圏へ向けた新築住宅用資材の販売のほか、国産木材や輸入木材の販売、プレカット加工なども行っていますが、元々は天竜のスギやヒノキなどを扱う製材業を営んでいました。しかし時代が移るにつれて木材の需要も減り、近隣にあった製材所はどんどん無くなっていきました。かつてはこの地域に10数社の製材工場があったんですよ。それが今ではここが残るだけになってしまいました。寂しい限りです。

弊社は製材業から建築資材の卸売や加工販売へと進出し、さらに集成材事業にも乗り出しました。厳しい状況の中にあっても、うまく業務転換できたことで生き残れたのです。

※FSC (Forest Stewardship Council® = 森林管理協議会) 森林認証は、適切な森林管理を認証する国際的な認証制度です。森林とその森林から生産した木材・木材製品に与えられます。

時代とともに変わってゆく お客様のニーズ

近年、木材の良さを見直す動きが高まり、その需要は増えつつあります。特に集成材は一本の原木から切り出した無垢材より、手頃で扱いやすく人気です。さらに木材にも、安全性や生産者の顔が見えるという安心感を求める人も増えてきました。そのため弊社では集成材工場として県内唯一であるJAS認定を取得し、静岡県産の木材、それもFSC®森林認証®を受けたものを積極的に扱っています。



地元・天竜の自然が育んだ 木材の魅力を伝えたい

天竜は日本でも有数の優良材の産地です。しかし、林業も製材業も年々衰退しています。これは業界全体の大きな問題です。私は自分たちの事業だけではなく、それよりも川上にある林業をしっかりさせていきたいと考えています。天竜のヒノキはやや赤みがかった、ピンク色をしています。このような産地ならではの特徴、魅力を伝えていきたいです。まずは地元の学校や公共施設などにも、天竜材をもっと使ってもらいたいですね。

木+アクリルをひとつに 高い技術が叶えた「KOMOREBI」

「今のままではだめだ。他社が出来ないものを作らなくては」その思いから生まれたのが、木材とアクリルという異素材を貼り合わせるという新しい発想でした。弊社が開発した「KOMOREBI」です。これは木のぬくもりとアクリルの透過性や色という、それぞれの特性を生かした製品です。木材の隙間から透ける光が生む、独特の美しさと柔らかさが特徴です。

弊社では2013年に集成材事業部を立ち上げ、室内装飾や家具・木工に使われる造作用集成材の製造・販売を始めました。集成材とは小さな木材を接着剤で貼り合わせ、大きな材に加工し直したものです。ゆえに、弊社は木材同士を貼り合わせる接着技術に長けています。ただ、木の集成材はどこでも作れるものです。それではいけない。そう悩んでいた時、ある社員が木とアクリルを組み合わせることを思い付いたのです。

周りから得るアイデアが 新たな可能性を広げる

木材は地元・天竜のスギやヒノキを中心に、アクリルは無色透明のほかカラフルなものとも組み合わせることにしました。しかし、この二つを貼り合わせる接着剤を選ぶのが本当に難しい。アクリルは温度変化に弱く、暴れて(膨張・収縮して)剥離してしまうのです。そこで工場長を中心に、県の工業技術支援センターと協力して何度も実験を繰り返し、データを集めました。そしてようやく納得がいく接着剤と技法にたどり着きました。

東京などの展示会でKOMOREBIを出品してみると、女性設計士の方から「可愛い」と好評で、さらにそこで知り合ったお客様から、これで眼鏡スタンドを作れないか、と声をかけられました。それまでは窓にはめたり、パーティションに使うなど住宅用建材としての用途しか考えていなかったのですが、これは思いがけないアイデアでした。

企業データ



- 会社名/鹿島木材株式会社
- 代表取締役社長/高林秀行
- 所在地/(本社工場)静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島63
(集成材事業部)静岡県浜松市浜北区中瀬2700
(横須賀支店)神奈川県横須賀市内川11-7-36
- TEL / 053-926-1121 (代) FAX / 053-925-2875
- 創業 / 1935年 ■ 設立 / 1946年
- 事業内容 / 建築用資材の製造販売、土木用材販売、プレカット加工、集成材の製造加工販売
- 取扱品目 / 天竜スギ、天竜ヒノキ、住宅資材、木材、設備機器、プレカット木材、特注材製造加工
- http://www.kajima-mokuzai.com/index.html
- 〈取得認可〉●静岡県木材業者登録 [登録No:1021] ●静岡県産材取扱業者 [登録No:1021] ●住宅瑕疵担保責任保険 (届出No:21018250) ●合法木材供給業者 [認定No:1021] ●建築・大工・屋根・内装仕上工事業 [静岡県知事許可 (般-26) 第33220号] ●タイル・れんが・ブロック工事業 [静岡県知事許可 (般-26) 第33220号] ●JAS認定工場 (化粧はり造作材/造作材) [認定No:JPIC-LT246]